

第22号

一歩前進 校長室からのつぶやき

私自身が思っていること、考えていることをつぶやきたいと思います。

〇〇しましょうか

体育大会の後片付けの時でした。生徒も保護者も職員もみんな一生懸命に割り当てられた片付けを行っており、体育大会そのものに劣らず、とても素晴らしい光景だったことを覚えています。

もちろん私も何か（テントの柱？）を持ち運ぶ片づけをしていたのですが、その時、確か1年生の男子生徒だったと思いますが、「僕たちが持っていきましょうか。」と声をかけてくれました。私は、その言葉がとても嬉しく、素敵な瞬間で心が温かくなりました。私が大変そうだったから・・・？、校長先生だったから・・・？など、生徒の気持ちを忖度して考えずに、素直に甘え、お願いしました。二人の表情はとてもさわやかでボランティア精神に満ちていました。また、小学校の運動会を参観した時、中学生が一生懸命手伝っている姿を見て嬉しくなりました。

さて、この「〇〇しましょうか」という言葉は、いろいろなことに気が付かないと発せない表現だと思います。相手の状況に思いを馳せ、奉仕する気持ちがないと出てこない言葉です。

リーダーの指示があり、それを行うことはよくあることです。素直に行動するのですからこれはこれで大したことです。さらに成長するために、指示待ちだけに終わらず、主体的に気付き、考え、行動する「〇〇しましょうか。」という姿勢は、きっと未来の自分づくりのために成長を促してくれると思います。是非、「〇〇しましょうか」と積極的に話せる人になっていってください。

